



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 2924 URL http://www.ifuji.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,856	1.5	778	24.9	796	24.4	519	19.2
2019年3月期第3四半期	10,692	△2.9	623	27.3	640	27.3	435	3.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 518百万円(22.3%) 2019年3月期第3四半期 424百万円(△3.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	63.55	—
2019年3月期第3四半期	52.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,069	5,948	53.7
2019年3月期	10,710	5,702	53.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 5,948百万円 2019年3月期 5,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
2020年3月期	—	9.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	11.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,353	4.7	933	15.7	957	15.5	621	12.6	76.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	8,345,370株	2019年3月期	8,345,370株
2020年3月期3Q	204,022株	2019年3月期	15,728株
2020年3月期3Q	8,175,656株	2019年3月期3Q	8,329,666株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2019年5月8日に公表いたしました業績予想及び配当予想は、本資料において修正しております。詳細は、本日(2020年2月13日)別途開示しております「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な貿易摩擦への懸念や消費税率の引き上げ等に伴う消費者の節約志向の高まり、また日本国内の人口減少等も加わり、依然として不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、原材料価格の上昇や人件費の高騰等による商品の値上げや内容量の減量等により、消費者の生活防衛意識が強まってきております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.5%増の10,856百万円となりました。これは主に、鶏卵関連事業における販売数量が同4.4%増と好調に推移し、第3四半期連結累計期間における過去最高となったことによるものです。

損益につきましては、鶏卵関連事業において販売数量が増加したことや高付加価値商品の販売増、また製造コスト削減等により、営業利益は同24.9%増の778百万円、経常利益は同24.4%増の796百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同19.2%増の519百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵製品の販売単価および原料の仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は製品の販売単価および原料の仕入単価ともに高く推移し、低く推移した場合は製品の販売単価および原料の仕入単価ともに低く推移する傾向にあるため、製品の販売単価と原料の仕入単価の差益を一定額以上確保するとともに販売数量を伸ばす努力をしております。

当セグメントにおける業績の重要な指標である販売数量は前年同期比4.4%増となり、第3四半期連結累計期間における過去最高の販売数量となりました。売上高につきましては、販売数量が増加したこと等により、液卵売上高は前年同期比1.6%増の9,230百万円となりました。また、加工品売上高はゆで卵や仕入販売の増加等により同7.3%増の413百万円、その他売上高は同23.2%増の366百万円となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の合計の売上高は、同2.5%増の10,011百万円となりました。

セグメント利益につきましては、販売数量の増加や高付加価値商品の販売増、また製造コスト削減等により、同31.6%増の756百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、既存商品の販売減少やスナック菓子向け商品の採用が少なかったこと等により、前年同期比7.7%減の865百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に売上高の減少により、同70.7%減の10百万円となりました。

③その他

当セグメントは太陽光発電事業であり、売上高は前年同期比7.7%減の19百万円となり、セグメント利益は同5.2%減の11百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は11,069百万円となり、前連結会計年度末に比べ358百万円増加しました。

流動資産は6,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ442百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加652百万円、現金及び預金の減少99百万円、商品及び製品の減少152百万円等によるものです。

固定資産は5,042百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の減少77百万円等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は5,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ112百万円増加しました。

流動負債は2,945百万円となり、前連結会計年度末に比べ387百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加287百万円、短期借入金の増加100百万円等によるものです。

固定負債は2,175百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少259百万円等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は5,948百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益519百万円の計上及び配当金の支払い148百万円による利益剰余金の増加371百万円、自己株式の取得124百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の53.2%から53.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、現在の業績の進捗等を勘案して、業績予想の見直しを行った結果、2019年5月8日の決算短信発表時に公表した2020年3月期の通期業績予想を修正しております。

詳細は本日(2020年2月13日)別途公表の「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,303	2,203
受取手形及び売掛金	2,185	2,838
商品及び製品	816	663
仕掛品	47	37
原材料及び貯蔵品	213	254
その他	21	31
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	5,584	6,026
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,948	1,871
機械装置及び運搬具(純額)	1,010	991
土地	1,915	1,915
その他(純額)	89	88
有形固定資産合計	4,964	4,867
無形固定資産	7	5
投資その他の資産		
投資有価証券	134	157
その他	20	13
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	153	169
固定資産合計	5,126	5,042
資産合計	10,710	11,069
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	745	1,033
短期借入金	938	1,038
未払法人税等	177	129
未払消費税等	45	48
賞与引当金	70	37
役員賞与引当金	—	31
その他	580	627
流動負債合計	2,558	2,945
固定負債		
長期借入金	1,798	1,538
長期未払金	567	562
繰延税金負債	58	48
その他	26	26
固定負債合計	2,450	2,175
負債合計	5,008	5,120
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	4,829	5,201
自己株式	△7	△131
株主資本合計	5,645	5,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	56
その他の包括利益累計額合計	57	56
純資産合計	5,702	5,948
負債純資産合計	10,710	11,069

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	10,692	10,856
売上原価	8,685	8,617
売上総利益	2,007	2,238
販売費及び一般管理費	1,383	1,460
営業利益	623	778
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
受取賃貸料	18	18
その他	7	6
営業外収益合計	26	26
営業外費用		
支払利息	9	8
その他	—	0
営業外費用合計	9	8
経常利益	640	796
特別利益		
補助金収入	0	0
受取保険金	12	15
特別利益合計	13	15
特別損失		
固定資産除売却損	0	14
災害による損失	9	23
特別損失合計	9	37
税金等調整前四半期純利益	643	774
法人税、住民税及び事業税	211	265
法人税等調整額	△3	△9
法人税等合計	208	255
四半期純利益	435	519
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	435	519

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	435	519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△0
その他の包括利益合計	△11	△0
四半期包括利益	424	518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	424	518
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,770	900	10,671	21	10,692
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	37	37	—	37
計	9,770	937	10,708	21	10,730
セグメント利益	575	36	611	11	623

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	611
「その他」の区分の利益	11
四半期連結損益計算書の営業利益	623

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,011	825	10,837	19	10,856
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	40	40	—	40
計	10,011	865	10,877	19	10,896
セグメント利益	756	10	767	11	778

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	767
「その他」の区分の利益	11
四半期連結損益計算書の営業利益	778

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。